

2019年10月1日、消費税・地方消費税の税率は10%※へ。

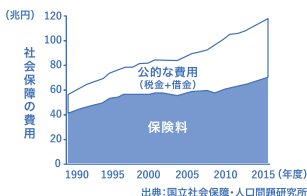
※10%のうち2.2%は地方消費税です。



なぜ、税率が上がるんですか？

社会保障制度を次世代に引き継ぎ、みんなが安心できる社会にするため

日本では高齢化が進み、社会保障の費用は増え続けています。みんなが安心できる社会にするためには、安定した財源を確保し、社会保障制度を次世代に引き継ぐとともに、全世代型へ転換していく必要があります。そのためには10%への税率の引上げが必要です。



引上げ分は何に使われるのですか？

すべての世代を対象とする社会保障のために

引上げ分は、消費税・地方消費税ともに、全世代を対象とする社会保障の充実と安定のために使われます。例えば①待機児童の解消、②3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化、③真に支援が必要な学生の高等教育(大学など)の無償化、④介護職員の処遇改善、⑤所得の低い高齢者の介護保険料の軽減、⑥所得の低い年金受給者への給付金の支給などです。



家計や景気への影響は大丈夫ですか？

家計や景気、両方の視点から対策を実施します

税率引上げに伴う家計への負担を減らすため、飲食料品(お酒・外食を除く)と新聞(定期購読契約、週2回以上発行)に係る税率を8%に据え置きます(軽減税率制度)。

このほか、家計や景気への影響を緩和するための各種対策を実施します。



プレミアム付商品券



自動車や住宅の購入等支援



キャッシュレス決済でのポイント還元

知っていますか、地方消費税

一般に「消費税」と言うのは、消費税(国税)と地方消費税(地方税)を合計したものです。地方消費税収は、地方自治体の貴重な財源として、住民の皆様の身近な行政に生かされています。

政府広報 消費税

検索



消費税率改定に伴う

公共料金の値上げ

消費税率の改定に伴い、値上げされる主な公共料金は、次のとおりです。

- ▽市指定のごみ袋・粗大ごみ処理シールの料金(下表)や、環境センター・不燃物埋立地における廃棄物の処分手数料など
- ▽上下水道・工業用水道・農業集落排水施設の使用料など
- (9ページにも記載)
- ▽市立大洲病院や大洲市国保診療所における診断書作成に係る手数料、個室使用料など
- ▽臥龍山荘、大洲城、大洲家族旅行村、鹿野川荘、河辺ふるさと館などの観光施設における観覧料や利用料など
- ▽総合体育館、長浜体育館などの体育施設の使用料
- ▽市民会館、図書館コミュニティホール、公民館、総合福祉センターなどの市内施設の使用料
- ▽その他、斎場使用料、道路占用料、フラワーパークおおず使用料など

市指定ごみ袋販売代金(一般廃棄物処理手数料)

区分		現行	改定後
燃やすごみ	大(45L)	400円	420円
	中(30L)	300円	310円
	小(20L)	200円	210円
燃やさないごみ	大(45L)	400円	420円
	中(30L)	300円	310円
	小(20L)	200円	210円
粗大ごみ処理シール		1,000円	1,050円

なお、「住民票・印鑑・戸籍関係証明手数料」および「税関係証明手数料」については、10月1日以降も、据え置きします。

改定される公共料金について、詳しくは担当部署までお問い合わせください。市公式ホームページをご確認ください。

大洲市関係

消費税率改定

水道料金、下水道使用料、農業集落排水施設使用料の変更について

10月1日から消費税率が10%に引き上げられることに伴い、水道料金や下水道使用料などの消費税額の表示が変更されます。

今回の変更は消費税の引き上げ分のみで、基本料金や超過料金の税抜き金額に変更はありません。

【新税率10%の適用開始日】

9月30日(月)以前から継続して水道を使用している人は、10月1日(火)以降の最初の検針による使用分まで旧税率(8%)が適用されます。

大洲市では、水道の検針を2カ月に1回、奇数月と偶数月に分けて行っています。

奇数検針地区の人は、令和2年1月請求分から、偶数検針地区の人は、令和元年12月請求分から新税率(10%)が適用されます。

【問い合わせ先】

▽上水道・簡易水道料金について
水道課 ☎243753

▽下水道・農業集落排水施設使用料について

下水道課 ☎241720

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
奇数月 検針地区		検針		検針		検針
	旧税率(8%)		旧税率(8%)		新税率(10%)	
	10月請求分	11月請求分	12月請求分	1月請求分	2月請求分	
偶数月 検針地区	検針		検針		検針	
	旧税率(8%)		新税率(10%)		新税率(10%)	
	10月請求分	11月請求分	12月請求分	1月請求分	2月請求分	

野鳥



スズメ(雀)
スズメ目 スズメ科
全長 15cm

みなさんに一番なじみのある小鳥と言えば、このスズメだと思います。鳴き声も「チュン、チュン」または「ジुक、ジुक」とかわいいのですが、収穫の時期には、たわわに実ったお米を集団で食べにやって来る厄介者として扱われます。しかし、子育ての時は農作物の害虫をひなに与えるので、悪者にするのにはかわいそうな気がします。

本来は日本列島にいなかったとされていて、稲作の始まりと同時に大陸から移って来たそうです。一見、普通にいるスズメも人間の生活様式の変化で生息数を減らしています。最近の住宅は、ほとんど屋根瓦を使わないので、営巣場所となる瓦の隙間がなくなり、ツバメの巣を奪ったりして、大変な思いで子育てしています。人間に近い場所で生活している生き物たちは、時代の流れに左右され、次世代に命をバトンタッチするのは、生易しいことではないように思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

文化財



くらまさんちゅうしわかまるず
鞍馬山中牛若丸図
市指定有形文化財(絵画)
住吉神社所有

この絵馬を所有する住吉神社は、長浜町の中心部の東側にあり、江戸時代、参勤交代の際に藩主自ら参詣するなど、歴代藩主の信仰を受けた神社です。

当絵馬は、縦147cm、横265cmにもなる大きさと、大洲藩の御用絵師である若宮養徳が描いたものを、文化10(1813)年、神社氏子が海上安全を祈願して神社に奉納したものです。

板面には、平家にとらえられ鞍馬山に幽閉された牛若丸(のちの源義経)が、山に住む大天狗「鞍馬天狗」から武芸を習ったとする一場面を描いたものです。

市内に残る絵馬のうち、御用絵師の若宮養徳が描いたものは少なく、金粉が施されている当絵馬は装飾性も高いことから、歴史的、美術的に貴重な資料と言えます。

(平成16年9月9日指定)

地域医療の未来を考える

～医療の現場から～ No.4

社会医療法人北斗会 大洲中央病院

大洲中央病院は、昭和48（1973）年、医療法人北斗会の初代理事長である武内成禮さんのもと開業されました。平成15年には、（公財）日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の審査を受け、認定病院になりました。その後、5年ごとの更新を続けていて、医療の質や施設・設備などが高い水準であると評価されています。さらに平成27年には、より公益性が高く、地域に貢献する使命を持った「社会医療法人」として再スタートを切りました。

大洲中央病院では、土、日曜日
を平常診療日とし、安心して受診
できる病院として地域のみなさん
に利用されています。
現在の理事長・院長である大久
保啓二さんは、平成10年に就任し
ました。平成27年には大洲中央病
院が「救急医療功労者厚生労働大
臣表彰」を、平成30年には大久保
院長が「救急功労者総務大臣表彰」
を受賞するなど、長年にわたり救
急医療の確保や救急医療対策の推
進に尽力しています。



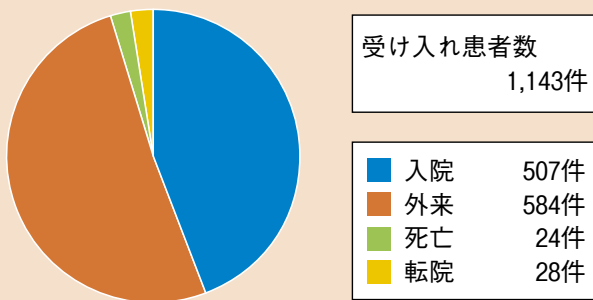
診療科目	内科・消化器科・胃腸科・循環器科・外科・ 脳神経外科・整形外科・泌尿器科・麻酔科・ リハビリテーション科・放射線科・形成外科
受付時間	午前8時～11時30分
休診日	火・水曜日、祝祭日、年末年始
所在地	〒795-8507 大洲市東大洲5番地
電話番号	0893-24-4551
公式HP	http://www.oosuchuo-hsp.jp/

救急患者受け入れ体制・概要・現状

大洲中央病院は、救急告示病院
として、救急患者の受け入れを行
っています。大洲喜多地区内の病
院で構成する二次救急の輪番制で
は、毎週金曜日から日曜日（日曜
日は午後6時まで）の3日間を対
応しています。また、土曜日の夜
間帯（午後5時30分～翌朝午前8
時30分）は、大洲喜多地区だけ
なく八幡浜地区からの救急患者の
受け入れも行っています。

平成30年度の救急車による患者

平成30年度救急患者受け入れ概要



の受け入れは、1143件ありま
した。治療の処置状況で分けてみ
ると、手術や入院などを必要とし
ない患者は、全体の約半数を占め
ています。また、診療時間以外に
おける救急車以外での受け入れ患
者は、3186人でした。
当院は、週末に診療を行ってい
るため、土、日曜日には診療時間
内外を問わず、多くの救急患者の
受け入れが行われていますが、地
域の救急医療を守るために職員一
人一人が使命感を持って従事して
います。



過疎化に伴う

医療の問題

大洲市では、少子高齢化・過疎化が急速に進み、一人暮らしを含む高齢者のみの世帯数が増加しています。その結果、健康や医療のことで相談できる人が身近にいない世帯が多くなっています。特に、高齢者の一人暮らしでは、受診をためらう人が多いため、重症化してから治療を行うケースが増えています。また、食事や運動など日常生活の基盤は、高齢者だけの世帯では管理や調整が難しいため、栄養の偏りや運動不足が生じてしまい、基本的な健康習慣が実践できないケースも増えています。地方部での少子高齢化・過疎化は、このように医療に関する問



大洲中央病院 理事長 院長

大久保 啓二 さん

題にも影響を与えています。

大洲中央病院には、急性期医療の終了後、在宅や施設へ移行するには不安のある患者に対して、在宅復帰に向けた医療や支援を行う地域包括ケア病棟があります。通常、一般病棟で症状が安定すると、退院していただき在宅での療養をお願いいたします。しかし、経過観察がもう少し必要な人や、在宅復帰に向けてリハビリが必要な人などは、地域包括ケア病棟へ転棟していただき、安心して退院できるように支援しています。医師や看護師が、ケアマネージャーや訪問スタッフなどと連携することで、医療体制に一連の流れを作り、病院からスムーズに自宅へと戻れるようにしています。救急医療の現場は、とても厳しい状況になっています。特に夜間は、少ないスタッフで対応するため、施すことができる治療に限界があります。市民のみなさんには、できる限り通常の診療時間に来ていただき、適切な受診をお願いします。何か不安なことがあれば、かかりつけ医に相談して、早めの受診をお願いします。

迅速な治療が

行われるように



大洲中央病院 外来看護師長

瀧本 美保 さん

も、院内トリアージを導入し、患者の重症度、緊急度に応じて迅速な診断や治療が行われるようにしています。

特に、救急搬送事例では、救急隊員からの情報を基に、予測される処置や検査に対応できるように準備し、医師の早期治療につなげられるよう努めています。また、高度な専門的治療が必要と判断された場合は、専門病院との連携を取り、少しでも早く治療が行われるように準備を整えるのも私たちの役割です。

大洲中央病院は、開院以来、大洲喜多地区の救急医療に携わってきました。しかし、大洲喜多地区の医師不足は深刻な状況であり、6月から救急医療体制が一部変更されました。ただ、脳神経外科については、今まで通り365日24時間体制で救急に対応していますので、夜間でも緊急手術ができるような体制をとっています。

救急を受診するみなさんは、体調を崩す時間や場所、年齢や症状もさまざまです。対応する看護師は、生命の危険につながる兆候や異常がないかを常に考えなければなりません。当院で

このように救急の現場では、迅速な判断と対応が求められます。緊急性の高い疾患については、事例検討会で対応の評価を行い、改善が必要な事例については、救急看護認定看護師とともに振り返るなど対応の精度が上がるよう努力しています。当院では、今後も地域医療の在り方について考えるとともに、市民のみなさんの健康維持に少しでもお役に立てるよう、病気や健康に関する内容で、講座を開催しています。機会がありましたら、ぜひご参加ください。

2年ぶりの開催 市内各地で夏祭り

大洲の夜空を彩る花火大会が、8月上旬から中旬にかけて市内各地で行われました。

大洲地域では、「大洲川まつり」が8月3日(土)、4日(日)に開催され、多数の出店が並び、多くの来場者でにぎわいました。また、長浜地域では、「ながはま赤橋夏まつり」が3日(土)、長浜港湾緑地などで開催され、フラダンスの披露やミニコンサートなどが行われました。肱川地域では、「鹿野川夏まつり」が11日(日)、肱川支所前通りで開催され、復興への思いが込められた3500発の花火が打ち上げられました。



復活の喜び 鳴子に込めて

えひめYOSAKOI祭り2019が、8月18日(日)に緑地公園を中心に開催されました。昨年は、15周年記念大会の開催を予定していましたが、豪雨災害により中止となりました。「復活」と題し開催された今年の祭りには、県内外から35チーム約1,100人の踊り子が参加し、熱い踊りを披露しました。

開会式では、えひめYOSAKOI祭り振興会の久保田和子^{かずこ}会長が「よさこい祭りが復活できた喜びをみなさんと分かち合いたい。今日は、よさこいを通して大洲の町をみんなで元気にしましょう」とあいさつしました。

今年の祭りは、復興イベントとして大洲の町を元気にするため、演舞の審査は行われませんでした。参加したチームは、それぞれ特色を生かした演舞を披露し、訪れた観客を魅了していました。



高齢者叙勲



旭
日
単
光
章

田中 五月^{さつき}さん
(河辺町川崎)
元大洲市議会議員

田中さんは、長年にわたり地方自治業務にご尽力されたご功績により、このたび「旭日単光章」を受章されました。

大洲の秋の風物詩 ～いもたき初煮会～



大洲のいもたきシーズン開幕となる秋の風物詩「いもたき初煮会」が8月30日(金)、如法寺河原で開催されました。

今年は、降雨の予報のため、ステージイベントなどは中止になりましたが、恒例の1,000人分のいもたきの無料配布は実施されました。会場に集まった多くのみなさんは、300年の歴史を誇る大洲のいもたきを堪能していました。いもたきの期間は、10月中旬まで予定されています。

鉄砲隊 4 隊 大洲城に集結

大洲城天守復元15周年・大洲藩鉄砲隊結成5周年記念イベントが、9月1日(日)、大洲城本丸で開催されました。イベントには、大洲藩鉄砲隊に加え、丸亀城鉄砲隊、豊後大友宗麟^{そうりん}鉄砲隊、土佐長宗我部^{ちよぼうそが}鉄砲隊が集結し、それぞれ演武を披露しました。

隊員が空砲を撃つと、会場には大きな音が鳴り響き、来場者からは歓声が上がっていました。また、女性隊員だけで結成された「大洲藩鉄砲隊いろは組」のお披露目会も行われ、記念撮影が行われるなどにぎわいを見せていました。



コーヒーで世界とつながる

青年海外協力隊^{えいり}として、中米ホンジュラスで活動していた今井英里さんが、ホンジュラスコーヒー専門店を開店しました。そのオープニングセレモニーが、8月10日(土)に行われ、駐日ホンジュラス大使であるエクトル・アレンハドロ・パルマ・セルナさんら、関係者50人が参加しました。

パルマ大使は「日本人ボランティアによるホンジュラスでの支援にとっても感謝している。さらなる日本との強い関係を結んでいきたい」とあいさつしました。



大洲のええモン 販路開拓を目指して

令和元年度大洲ええモンセレクション認定書交付式・認定品発表会が、8月29日(木)、オズメッセ内の特設会場で開催されました。

大洲ええモンセレクション認定制度は、大洲を代表する商品として認定し、PRすることで、地域産業の活性化や、市全体のイメージアップにつながることを目的として平成24年度に開始した制度です。8年目を迎え、今年度から新たに工芸品や非食用の農林水産物の募集も行われました。7月に認定審査会を開催し、新規10品目と



更新14品目が今年度の大洲ええモンセレクション認定品として決定しました。総認定数は、24事業者の56品目となりました。

認定事業者を代表して、瀧本養蚕の瀧本亀六きらくさんが「この認定により、大洲の養蚕業の認知度の向上が期待できる。これからも、大洲を代表する商品を作り続けたい」と抱負を述べました。

また、隣の会場では、大洲市6次産業化商品発表会が行われ、事業者や団体が、開発した加工品などを紹介していました。

第22回ながはま赤橋夏まつり俳句大会

第22回ながはま赤橋夏まつり俳句大会が、8月3日(土)、大洲市長浜ふれあい会館で開催され、市内外より多数の俳句愛好者が集まりました。

入賞者は次のとおりです。(敬称略)

【大洲市長賞】

赤橋を渡るつものかたつむりの蝸牛 清水 星凜せいりん (白滝)

【愛媛新聞社賞】

熊蝉の登って来いといふ高さ 毛利 喜子のぶこ (喜多郡内子町)

【大洲市議会議長賞】

大西日青島を染め海を染め 峯岡 桂子けいこ (長浜)

【大洲市教育委員会教育長賞】

六畳ふすまの襖をはづす夏まつり 白石 美子はるこ (阿蔵)

【大洲市文化協会長浜支部長賞】

何も無き里たっぷりと青田風 宮部 富佐子ふまこ (喜多郡内子町)

【大洲市観光協会長浜支部長賞】

脱藩の名残の宿なつのれんや夏暖簾 片岡 義弘よしひろ (菅田町宇津)

【ながはま赤橋夏まつり実行委員会長賞】

百歳に王手しろがすりかけたる白緋 大島 慧子さとこ (喜多郡内子町)

